

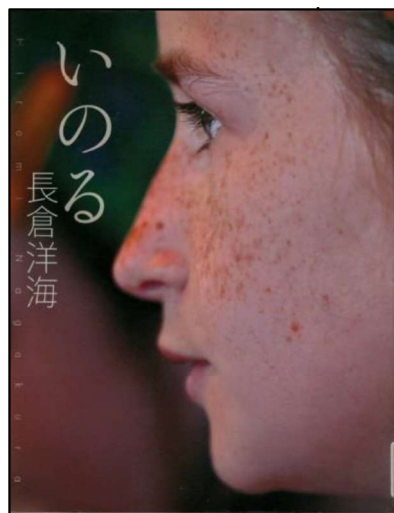


いのる

長倉 洋海／著 アリス館 2016.9

地球のどこかで戦争が続いている。私たちは平和を望む。そのために、世界や社会のしくみをしっかり学んで生かすのも大切だ。また過ちを繰り返さないように歴史を学べば争いはなくせるのか。あなたにも私にも今すぐできることのひとつは、「いのる」ことではないだろうか。作者は、世界の紛争地を精力的に取材し、写真を撮り続けてきたフォトジャーナリスト。世界中の「いのる」人々の写真もことばも心に響きます。

(刈谷市中央図書館 大熊猫)



第10号 (2023年1月31日)

編集 愛知県公立図書館長協議会  
ヤングアダルトサービス連絡会  
事務局 愛知県図書館  
名古屋市中区三の丸一丁目 9-3  
TEL 052-212-2323



\* 所属館名は執筆当時のものです。

WEB版(バックナンバーも掲載しています) → <https://websv.aichi-pref-library.jp/ya/alc.html>

ティーンのための

Aichi Librarians' Choice

A・L・C あるく

no.10

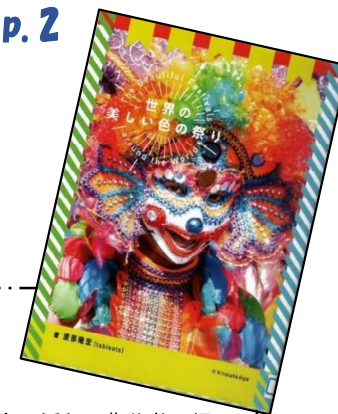
愛知県内の図書館員がティーンのみんに  
オススメの本を紹介するA・L・C

今回のテーマは…

せかい!

～戦争と平和、世界の国を知る～

- 知ることからはじめん? … p.2
- 日本⇄世界 … p.4
- 未来と向き合う … p.6
- 戦争と平和 … p.8



世界の美しい色の祭り

渡部 隆宏／著 エクスナレッジ 2018.7

世界には様々な祭りがあり、それは、地域に根付いた考え方や採れる農作物、信仰している対象などによって大きく変わります。この本を読んで「祭り」という一風変わった窓口から世界を覗いてみませんか?

本書では世界の祭りを見開き一ページでまとめており、目にも鮮やかで見ているだけでも楽しい写真と概要、解説でわかりやすく紹介しています。また、各祭りは色ごとに分けられており、南欧は情熱的な赤が目立ち、北欧は厳しい冬を感じさせるモノクロが目立つ…など、色から得られる印象と、地域の特色にもご注目下さい!

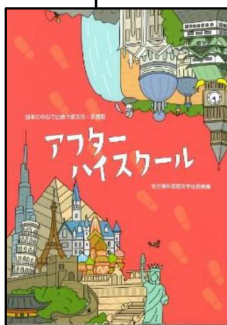
(知多市立中央図書館 知多ゴリラ)

# 知ることからはじめん？

## アフターハイスクール

日本の中心で出会う多文化・多言語  
名古屋外国語大学出版会／編集  
名古屋外国語大学出版会 2022.1

愛知には、世界と繋がるきっかけが実はたくさんあるって知ってた？ 韓国語、フランス語、タイ語、アラビア語、中国語、ポーランド語、インドネシア語、イタリア語、ロシア語、ポルトガル語、ドイツ語、スペイン語、ベトナム語、英語…14つの言語を切り口として、世界の「今」の流行や文化、歴史についてスクラップブックのように紹介している本です。  
名古屋市大須商店街でいくつの言語が見つかるか、探すのが楽しみになるかも。



(愛知県図書館 きりん)

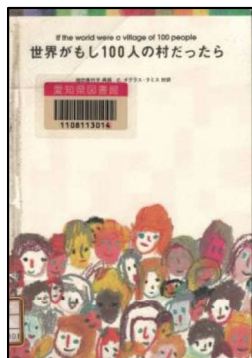


## 世界がもし100人の村だったら

池田 香代子／再話 C.ダグラス・スミス／対訳  
マガジンハウス 2001.12

世界というと大きすぎてピンとこないけれど「100人の村」に縮めると、急に身近に感じませんか？世界の現状が、シンプルな言葉で分かりやすく語られます。ストレートな表現にハッとさせられます。自分が目にはしているのは、世界のほんの一部なんだと…。20年ほど前に大きな話題になった本です。それから世界はどう変わったのか？ 変わらなかったのか？ 考えてみませんか。

(武豊町図書館 ぴっぴ)



## 火星にいった3人の宇宙飛行士

U.エーコ／さく E.カルミ／え 海都 洋子／やく  
六耀社 2015.2

地球から火星へ向けて、アメリカ人、ロシア人、中国人が乗った3台のロケットが打ち上げられました。3人は仲が悪かったけれど、奇妙な風景の火星の夜に、寂しくなって「お母さん」とつぶやきます。そこで初めて、みんな同じ気持ちでいることに気がつき、仲良くなります。翌日、緑色の変な姿をした火星人が現れて、驚いた3人は火星人を倒そうとしますが…。相手のことを理解して、共感することの大切さがわかる絵本です。

(田原市図書館 ゴーヤ)



## そらいろ男爵

ジル・ボム／文 ティエリー・デデュー／絵  
中島 さおり／訳 主婦の友社 2015.8

「これは、100年くらい前のお話です。そのころの戦争は、まだ人が手でうごかしていました」飛行機乗りのそらいろ男爵がしたことは…なんと！！！！絵本なのであつという間に読めます。読後は拍手喝采！どこかの国のあの方に送ってあげたい！なにしろ、あの文豪トルストイの『戦争と平和』が出てくるんですから。2014年「サン＝テグジュペリ賞」(絵本部門)受賞。

(あま市美和図書館 こすもす)





**アウシュヴィッツの図書係**  
アントニオ・G.イトゥルベ／著  
小原 京子／訳 集英社 2016.7

アウシュヴィッツ＝ビルケナウ強制収容所、その過酷な環境下で、たった8冊の本を「図書館」として守り通した少女ディタが主人公の物語。



毎日隠し場所を変え、看守たちの監視を潜り抜けた彼女の目を通して、様々な立場の人々の姿が描かれます。読んでいて辛い場面も多いですが、禁止された本を心の拠り所として生き抜いたディタの意志の強さに胸を打たれます。

(刈谷市中央図書館 HK)

**きれいな絵なんかなかった**  
こどもの日々、戦争の日々  
アニタ・ローベル／作  
小島 希里／訳 ポプラ社 2002.11

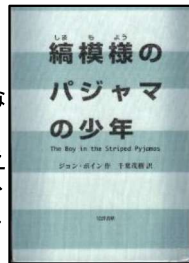
ユダヤ人の著者がホロコーストを生き抜いた日々の記憶。戦争が始まったとき、彼女は5歳だった。最後まで読み、そして考えてください。今、この瞬間も戦争に日々を奪われている子どもたちのことを。読みやすい文章で直接心に響いてくる言葉が綴られているこの本をこの時代にぜひ読んでください。



(豊田市中央図書館 よみりん)

**縞模様のパジャマの少年**  
ジョン・ポイン／作 千葉 茂樹／訳 岩波書店 2008.9

軍人の息子ブルーノは、ベルリンから知らない土地へ引っ越してきて、友人もなく退屈な毎日を送っていた。探検に出かけたブルーノは、フェンス越しに縞模様のパジャマを着た少年と出会い、フェンスを挟んで交流を重ね友情が芽生えていく。しかし物語はやがて悲劇へと向かう。非情なホロコーストの時代が舞台で、ブルーノの純粋な心が悲しさを倍増させる。胸が苦しくなる作品だが、ぜひ読んで色々感じてほしい。国際平和を願わずにはいられない！



(あま市美和図書館 あめちゃん)

**ことばにできない宇宙のふしぎ**  
エラ・フランシス・サンダース／著 イラスト  
前田 まゆみ／訳  
創元社 2019.7

「I am made from CARBON.(①)私たちの体は実は星くずでできています」と語りかける著者によれば、「永遠の真実はない-It won't be TRUE Forever!」(②)宇宙の一部から出来ている世界は、どこから戦争へと向かってしまうのか。宇宙について考えていくことは、実は人間について、世界について考えを深めていくことかもしれません。太陽を食べながら(③)ね。(①は第一章、②は最終章、③は第二章の章題です。)

(愛知県図書館 cotton100%)



こんな本もあるよ～

**たちどまって考える**

ヤマザキ マリ／著  
中央公論新社 2020.9



世界を駆ける漫画家のヤマザキマリさん(テルマエ・ロマエの作者さんです)が、新型コロナウイルス感染症を前にして自身やイタリア・日本社会と向き合ったエッセイです。

**<超・多国籍学校>は今日もにぎやか!**  
多文化共生って何だろう

菊池 聡／著  
岩波書店 2018.11



**SDGs時代の国際協力**  
アジアで共に学校をつくる

西村 幹子, 小野 道子,  
井上 儀子／著  
岩波書店 2021.2





## 日本⇄世界



## 私、日本に住んでいます

スベンドリニ・カクチ／著 岩波書店 2017.10



道を歩いていて外国人と擦れ違ふ、今では珍しいことではありませんが彼らが日本でどんな仕事をしていて、何を感じているか考えたことはありますか。

この本は、日本に来て日本で暮らすことを選んだ様々な職業の人々取材したインタビュー集です。

彼らの目に日本はどう映り、何を感じたかに迫ります。全く文化の異なる場所で暮らす彼らの言葉は、正に多文化との共生について考えるヒントで溢れています。

国際交流がますます盛んになっていく今だからこそ読んでほしい一冊です。

(岡崎市立中央図書館 落花生 2号)

## ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー

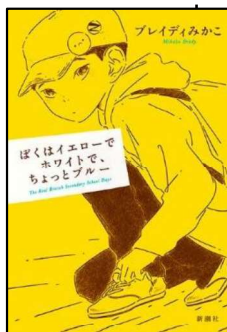
ブレイディみかこ／著 新潮社 2019.6

どんな本なんだろう？ 表紙に惹かれて手に取った。

アイルランドと日本、2つの国をルーツに持つ少年が、英国の地元中学で遭遇するリアルな日常。そこでは、差別や格差、偏見などいろいろな事件が起こる。

ナルホド！ と考えさせられた。

フラットな考え方を持つ少年と同じ目線で考える周りの大人達に、多様性の時代を生きるヒントをもらえた気がした。エンパシーって大事。



(武豊町図書館 ピョル)



## ちいさな国で

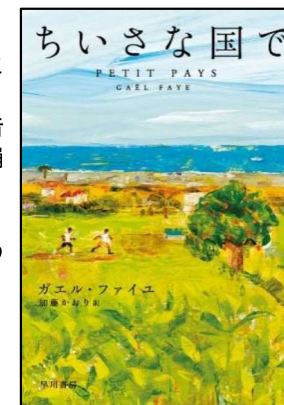
ガエル・ファイユ／著 加藤 かおり／訳

早川書房 2017.6

ちいさな国とは、様々な民族が暮らすアフリカのブルンジ。ブルンジで、フランス人の父とルワンダ難民の母との間に生まれたガブリエル。彼は少年時代アフリカの大自然の中で仲間たちと幸せな日々を送っていた。しかし、大統領の暗殺をきっかけに内戦が勃発。平穏な生活は音を立てて崩れてゆく…。

内戦による少年たちの対立、変わりゆく市街地の様子、そしてガブリエルの内面(恐怖が膨らむ心、恐怖にあらがう心)が生々しく描かれています。

アフリカの美しい風景、少年たちの無邪気な生活、そこに迫りくる内戦や民族差別、成長してゆくガブリエルの心の揺らぎに胸を激しく揺さぶられます。



(あま市美和図書館 Bamusemama)



## 希望の戦争

マーシャ・フォーチャック・スクリバック／著

荒木 文枝／訳 ポプラ社 2008.4



キャットはカナダに住む女子高生。パパとママ、姉のジーニャそして祖父のダニーロと暮らしていましたが、彼女の日常は突然やってきた警察によって変わってしまいます。祖父にかけられたある容疑、それは“カナダへの市民権を得る際、戦争中にドイツ占領下の祖国ウクライナで市民警察として民間人に対する残虐行為を行ったことを隠していた。”ということでした。

長い年月が過ぎても未だ続く戦争の傷とそれと立ち向かう家族の物語です。

(東海市立中央図書館 いとぐるま)

# 戦争と平和



## 世界を平和にするためのささやかな提案

池澤 春菜, 伊勢崎 賢治, 上坂 すみれ【ほか】 / 著  
河出書房新社 2015.5



世界を知るためには、まず、自分の世界を広げることが必要です。そして手っ取り早く自分の世界を広げるためにおすすめなのが、本を読むことです。

この本では 22 人の著者が、それぞれ「世界を平和にする」ための提案をしています。戦争を実体験した著者、していない著者、幅広い年代からの提案は、すぐに実行できるものから、人生をかけての壮大なものまであります。

この本の読者が自分なりの提案を考えることで、少しでも世界全体の平和につながることを願います。

(岡崎市立中央図書館 落花生 1号)

医師・絵本作家・タレントなど様々な職業の 22 人が、14 歳を想定した読者に世界を平和にする方法を提案する本。

一人当たり 6 ページ程なので読みやすい。納得できるもの、できないもの、面白いもの、難しいもの、いろいろなアイデアがある。世界平和に対して自分ができることなんか無いと諦めている人に読んで欲しい。少なくとも、この本を読んでいる間は平和について考えることができるから。まずは考えよう。

(刈谷市中央図書館 クロ)



## 緑と赤

深沢 潮 / 著 実業之日本社 2015.11



大学生の知英(ちえ)は海外旅行のためにパスポートを取って初めて、韓国のパスポートが緑だと知った。周りには自分が韓国人だと言っていなかった知英は仕方なく一緒に行く様に告白する。K-POP ファンの梓の提案でソウルに行くことになったが、知英はあまり乗り気になれない。

韓国滞在二日目、単独行動で訪れた水原華城(スウォンファソン)で知英は在日韓国人の龍平と出会う。しかし自分も同じだとなかなか言い出せず…。

タイトルは、韓国と日本のパスポートの色から付けられています。

(田原市図書館 かく)

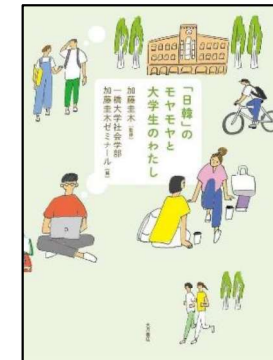
## 「日韓」のモヤモヤと大学生のわたし

加藤 圭木 / 監修 一橋大学社会学部加藤圭木ゼミナール / 編  
大月書店 2021.7

日本でも大人気のK-POPや韓流ドラマ。ハマったりメディアなどで目にし身近に感じたりすることも多いのでは？

そんな韓国の文化を知る上で、直面する歴史や外交問題について、私たちはどのように捉え考えれば良いでしょう。

そもそもなぜ揉めているのか、なぜ兵役に行くのかといった「モヤモヤ」からネットで流れてくる情報、家族や友人の言葉に感じる漠然とした「モヤモヤ」まで、皆さんと歳の近い大学生が探り、向き合います。



(豊橋市中央図書館 みい)

# 未来と向き合う



## 希望の図書館

リサ・クライン・ランサム／作 松浦 直美／訳  
ポプラ社 2019.11



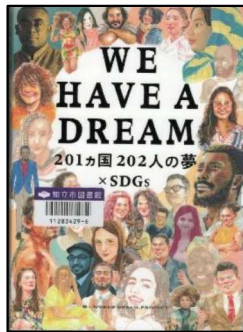
1946年アメリカ、母を亡くし、父と2人でシカゴへとやってきたラングストン。ふるさとのアラバマとは対称的な都会に慣れず、学校にもなじめないでいたラングストンは、学校の近くに図書館を見つけます。母からは「黒人は、図書館へ入れてもらえない」と聞いていましたが、そこは誰でも入れる図書館でした。そこでたくさんの本と出会い、中でも同じ名前の詩人の本は、ラングストンにとって大切な1冊となったのです。

(津島市立図書館 ★)

## WE HAVE A DREAM

201 各国 202 人の夢×SDGs  
WORLD DREAM PROJECT／編 いろは出版 2021.6

201 各国の若者たちが情熱をもって生き生きと語る「夢」。それは貧困や差別、教育の不足、環境問題など、今、それぞれの国が抱えている厳しい現実の中で、なんとかかよりよい社会へ歩みを進める希望となるものばかりだ。全然違う生き方や価値観に驚かされるけど、なぜか他人事を感じない。それはきっと彼らの語る夢が私たちともどこかでつながっているから。自分の将来とも向き合うきっかけにもなる 1 冊。



(豊橋市中央図書館 ぴー)



キュロテ・ドゥ 世界を変えた 15 人のすごい女たち  
ペネロプ・バジャー／著 関澄 かおる／訳 DU BOOKS 2020.11

家畜の飼育方法を革新した自閉症の動物学者。精神科病院や刑務所など様々な場所に潜入取材した女性ジャーナリスト…。この本に書かれているのは、いろいろな国の15人の女性たちの人生です。「白い目で見られたって構わない。」「私たちはやりたいようにやるだけ。」「彼女たちに共通しているのは、自分らしくあり続けたこと。女性たちの人生から、世界が見えてくるかもしれません。【コミック】

(名古屋市市中村図書館 赤いらいおん)



## 女の子がいる場所は

やまじえびね／著 KADOKAWA 2022.6



インドに住むカンティは10歳。パパが亡くなり、ママと弟と3人で暮らしていた。家事や弟の世話で学校を休みがちだったが、ママが裕福なおじさんと結婚したことにより、生活が一変！ 学校へ行けることになり、家庭教師もつけてもらったけど…。サウジアラビア、モロッコ、インド、アフガニスタン、そして日本。国も宗教も文化も違う女の子たちの現実を描く。【コミック】

(名古屋市鶴舞中央図書館 キコ)

## あおいの世界

花里 真希／著 中島 梨絵／装画 講談社 2020.7

小学5年生のあおいは、お父さんの仕事の都合でカナダの小学校へ転校することになります。みんなに変な子だと思われたくないあおいは、「ふつう」でいようと心に決めます。そんな中出会ったクラスメイトのアディソンは、「ふつうじゃなくていいじゃない。アオイでいいよ。」と教えてくれます。国や言葉の壁を越え、カナダの文化に触れながらアディソンとの友情を育み、ミス・マケンジーや個性的なクラスメイト達に支えられて成長していくあおい。力強く成長して行く姿を感じ取ることができる一冊です。

(東海市立横須賀図書館 ごま)

